

第2部通信

安曇野市消防団 (増設)
第13分団第2部 広報紙
管轄地区: 下堀, 中堀, 扇町
令和元年度版 No. 2
令和元年 7月 発行

安曇野市消防団第13分団第2部です。

6月16日に安曇野市防災広場にて安曇野市消防団ポンプ操法大会が行われ、日頃の訓練の成果を競いました。

操法にはポンプ車操法と小型ポンプ操法とがあり、設置された防火水槽から給水し、火災現場を想定した火点(かてん)と呼ばれる的に放水、撤収までの一連の操作を行います。

防火水槽・火点の位置・台詞・動きがあらかじめ決められており、ポンプ・ホースなどの操作を早く正確に行い火点の的に倒れるまでのタイムを競い、動きの俊敏さ・正確さが減点方式で採点されます。

13分団2部では、小型ポンプ操法での大会参加となりました。

ポンプ車操法ではホース2本で同時に放水することができますが、小型ポンプ操法ではホース1本での放水になります。

小型ポンプは実際の火災現場でもポンプのみを運び、奥まった場所などポンプ車が入っていない場所にも持ち込み動作させることが可能で利便性があります。

ポンプ車操法では指揮者・1～4番員の5人で操作をしますが、小型ポンプ操法では指揮者・1～3番員の4人で操作をします。

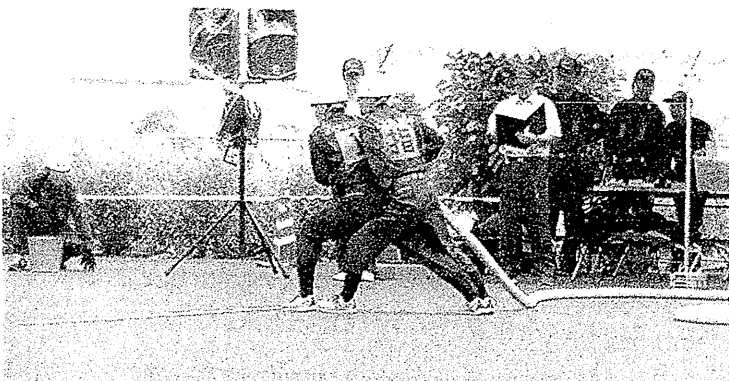
操法選手たちにはそれぞれ役割があり、火点を倒すために迅速・正確に行動します。



指揮者は全体の指揮と火点への放水を行います。

指揮者の指揮が曖昧だと1～3番員の選手は統制がとれず機敏な動きもできなくなり、士気の低下につながります。

また指揮者はホース展張と筒先の結合・操作を正確に行い、前方の火点と呼ばれる標的に正確に放水しなければなりません。



1番員は小型ポンプからホースを火点に向け正確に展張し指揮者のホースへと結合します。

また、指揮者から交代（筒先員交代）して火点への放水も行います。

交代時には筒先がブれないよう指揮者との呼吸を合わせなければなりません。



2番員は3番員と共に水槽へと吸管を伸ばします。

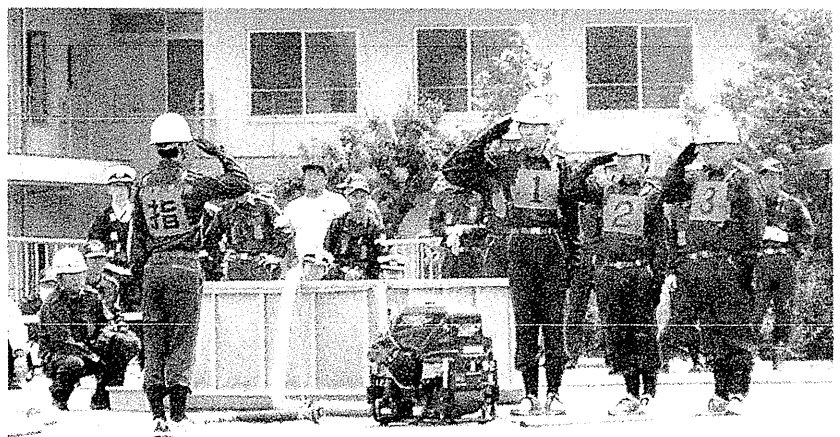
ポンプに水を吸い上げる為に少しでも早く行動し、3番員との連携が重要です。

また、放水開始・終了の伝令ととび口を火点に対してかまえます。



3番員はポンプを運転し、放水時のポンプ圧の調整など操作を行います。放水を行う為の重要な役割であり、他の番員と連携して素早く確実な動作をしなければなりません。

今年度の結果は、小型ポンプ操法の部8位(9チーム中)となりました。順位は残念な結果となりましたが、今年度は新人2人が選手を務め、大会に向けた約2ヶ月の練習で団員同士の団結力及び技術力を高めることができ、実際の消火活動にも対応が期待できると思います。



応援に来て下さった方々には感謝しております。ありがとうございました。